

真実を知ってください

リタリン乱用

825 N HARVARD BLV
LOS ANGELES, CA 900

TAKE 1 TABLET
MORNING

RITALIN 10 mg
R

ROUND WHITE 10 mg
Lblr: MALLINKRT PH
SMOOKIER

リタ
リッズ
スマーティーズ

drugfreeworld.org

この小冊子が 制作された理由

街 中や学校、あるいはインターネットやテレビの中で、薬物についてのさまざまな情報が氾濫しています。その中には正しい情報もありますが、そうでないものもあります。

そうした薬物情報の多くは、売人によって広められたものです。今では更生したかつての売人は「薬物を買ってもらうためなら、どんな嘘でも言っていた」と証言しています。

そのような情報にだまされないでください。薬物乱用という罠を避けるためには、事実を知る必要があります。この小冊子はそのために制作されたものです。

この小冊子をお読みになった上で、皆様のご意見やご感想をウェブサイト drugfreeworld.org から、またはEメール info@drugfreeworld.org までお寄せください。

リタリンとは？

リタリンは塩酸メチルフェニデートの一般名であり、合衆国麻薬取締局で「目録II」の麻醉薬として分類されています。これは、コカイン、モルヒネ、アンフェタミン*と同じ分類です。リタリンには中枢神経刺激作用があり、そのため主に十代の若者に乱用されています。

リタリンは処方薬として用いられる場合でも、神経過敏や不眠症、拒食症、食欲の減退、不整脈、心臓の不調、体重減少などの深刻な副作用を伴うことがあります。製造業者はリタリンについて、依存症を誘発する薬であると述べています。

2005年6月、アメリカ合衆国食品医薬品局は、リタリンやそれに類する薬品が、攻撃性や暴力行為とともに幻覚、自殺願望、精神異常を引き起こすという一連の公衆衛生報告書を発行しました。

ある作家はこのように記しています。「親たちは次のことを決して知らされることはありません。『子供は処方された薬を取っただけで死ぬことがある。そして中枢神経刺激剤を取っている子供が薬物乱用者になる確率は通常の倍であり、またこうした薬物を取っている子供の3分の1は、最初の1年以内に強迫的、衝動的な行動を取るようになる。』」



* アンフェタミン：強力な中枢神経刺激剤。
「スピード」と呼ばれることが多い。

どんな所で使用されている?

残念ながら、リタリンなど「興奮」型の薬は、アメリカ合衆国ではほとんど至る所で見られます。例えばあなたが高校生か大学生なら、麻薬密売人（同級生）はあなたから利益を得るために、気軽に声をかけてきて簡単に入手することができるでしょう。

アメリカには、生徒の20%がリタリンなどを常用している学校がいくつかあります。多くの場合、これらの学校の構内には、こうした薬物が近くの薬局よりも多くあることが合衆国麻薬取締局の調べによってわかりました。

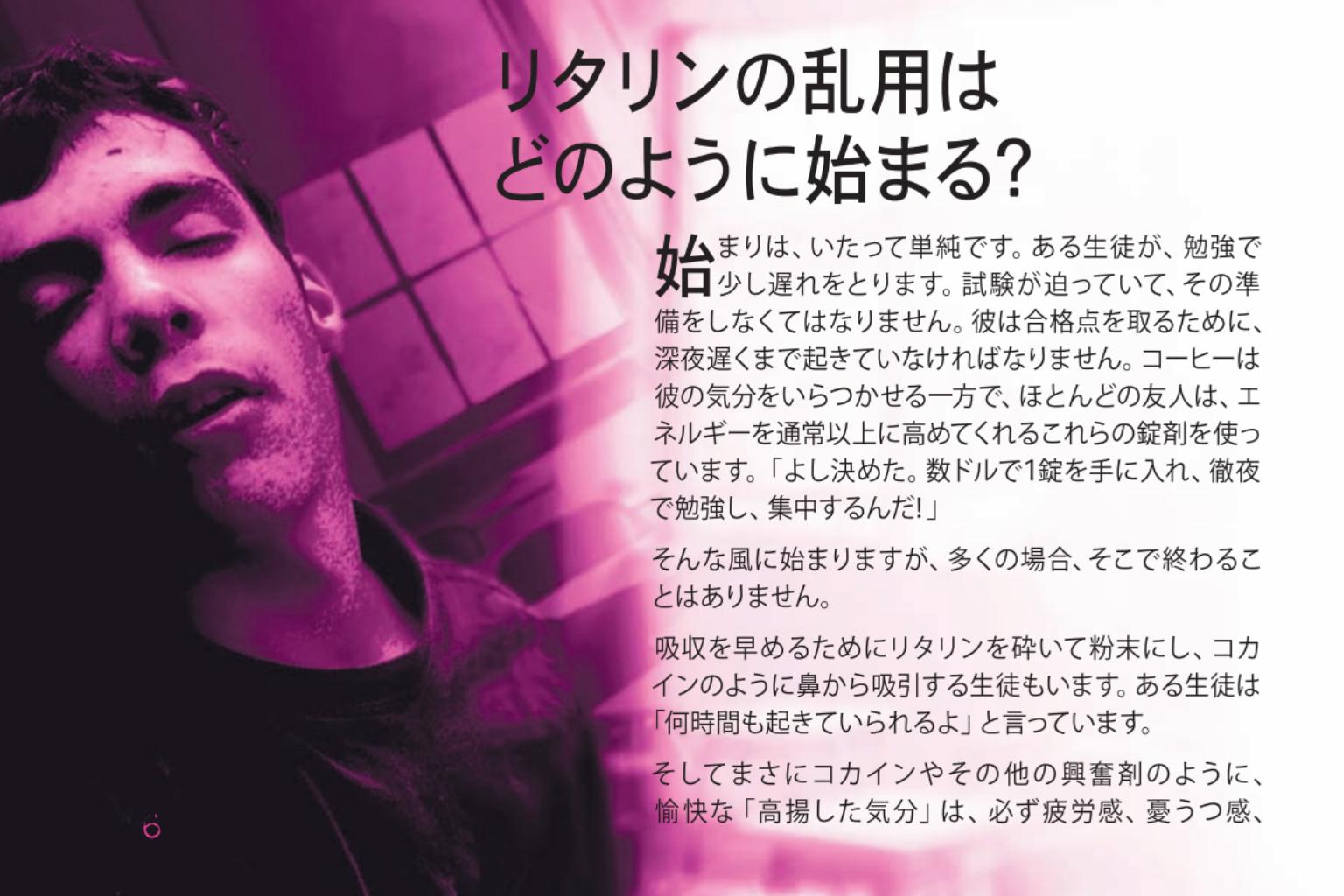
なぜそれほど出回っているのでしょうか? それは実に簡単です。ある「友達」が、自分の弟の処方薬を何粒か取ってきて、1粒5ドルで売るのです。もっと手っ取り早く手に入れたいと思う生徒は、学校の保健士に自分は「学習障害だ」とか「集中できない」と告げます。そのようにして処方薬を入手し、その薬を後で使用するために取っておき、余った分は友人に配るのです。

リタリンのような強力な中枢神経刺激剤*を無制限に配布することは法律で禁止されていますが、残念なことに、これらの薬物はどこでも自由に入手できます。「合法覚せい剤」と呼ばれるこの薬物は、キャンディーのように配られています。

* 中枢神経刺激剤：服用するとエネルギーや鋭敏さが一時的に増す薬品。同時に血圧や脈拍、呼吸数も増大する。



「オーバードーズ
(過剰摂取) みたい
な状態になってしまふんだ。
ものすごく過敏になって、
気分が激しく動揺する。
全く狂ってるよ。」
— ジェイク



リタリンの乱用は どのように始まる?

始まりは、いたって単純です。ある生徒が、勉強で少し遅れをとります。試験が迫っていて、その準備をしなくてはなりません。彼は合格点を取るために、深夜遅くまで起きていなければなりません。コーヒーは彼の気分をいらつかせる一方で、ほとんどの友人は、エネルギーを通常以上に高めてくれるこれらの錠剤を使っています。「よし決めた。数ドルで1錠を手に入れ、徹夜で勉強し、集中するんだ!」

そんな風に始まりますが、多くの場合、そこで終わることはありません。

吸収を早めるためにリタリンを碎いて粉末にし、コカインのように鼻から吸引する生徒もいます。ある生徒は「何時間も起きていられるよ」と言っています。

そしてまさにコカインやその他の興奮剤のように、愉快な「高揚した気分」は、必ず疲労感、憂うつ感、

注意力の低下という虚脱症状を引き起こします。大学のキャンパス内で広範囲に乱用されている別の中枢神経刺激剤、アデロール（アンフェタミンの商品名）を乱用しているある学生は、その「最高に冴えた」感じは翌日には虚脱と疲労の状態に変わる、と話しています。ある常習者は、「薬が切れた後は、いつも無気力状態に陥る」と言っています。

もちろん、それらの薬物常習者はこの虚脱感が、もう1粒飲むことで「楽」になり、また元の状態に戻るということを知るようになります。こうして常用が始まります。

次により大きな快感を得るため、大量の服用、または吸引を始めるかもしれません。そして薬への耐性がますますできるため、さらに多くの量が必要となります。リタリンは、このように大量に服用することで、ひきつけ、頭痛、幻覚症状を引き起こすことがあります。この強力なアンフェタミン系の薬物の摂取は死につながる場合さえあります。この薬物によるダメージが原因で、子供たちが心臓麻痺を起こして死亡するという悲劇的な事例も数多くあります。

「**最**初にリタリンを試したのは、中学生の時でした。それは私に処方された薬でした。私は軽いADD（注意欠陥障害）だと思われていたのです。というのも、成績が良くない（単に怠けていたのですが）ことの言い訳として、そのような振りをしていました。私は自分が中毒になっていること、そして他の薬物を常用している人たちと変わらないことに気付いていませんでした。

一日40mgのリタリンを取っていて、それは自分を最高の気分にしてくれると感じていました。何日も眠らず、最後にはひどい精神病的な発作にも襲われました。それは恐ろしいものでした！すべてが溶けるようにぼやけて見え、とにかくぞつとするような体験でした。」——アンドレア

リタリンとはどのようなもの? その他のデータ



リタリンは小さな錠剤で、ちょうどアスピリンくらいの大きさで形も似ており、表面に「Ciba」(製造業者の名前)と記されています。5mg錠が薄い黄色で、10mg錠が薄い緑、20mg錠には白と薄い黄色の2種類があります。

リタリンは中枢神経系に作用する興奮剤として説明されています。ところが、その製造業者の薬品の説明書の中にさえ、人体にどのように作用するのか実際には誰も知らないことを認めるような以下の記載があります。「人体におけるこの薬の作用の仕組みは十分にはわかっていません…」

リタリンを乱用する人は、錠剤を碎いて粉末にし、それを鼻から吸い込みます。この薬品は水溶性であるため、注射できるよう簡単に液体にすることができます。

合衆国麻薬取締局は次のように述べています。「メチルフェニデート（リタリン）の乱用者の唯一の入手経路は、合法的な販路で売られている調剤された製品を転用することです。」つまり乱用されている薬品はすべて、

錠剤であろうと、また粉末状に碎いたり、水に溶かしたものであろうと、もともとは製薬業者によってつくりられたものだということです。それはどれも違法につくられたものではありません。



「今では耐性ができてしまっているから、『ハイ』になるには20mgの錠剤で2、3錠取らなくてはいけない。僕は依存症になっていることに気付いた…ドラッグに溺れて死んだように、まるでゾンビのようになってしまった。」—アレックス

通りでの通称—ストリートネーム—

ス

トリートでリタリンは以下のようにさまざまな
隠語で呼ばれています。

- ・合法覚せい剤
- ・リタ
- ・R (アール)
- ・キディー・コーク
- ・ビタミン R

- ・R-ボール
- ・貧乏人のコカイン
- ・リップズ
- ・スマーティーズ

お金のかからない コカイン

リタリンは簡単かつ安価に入手できます。誰かの処方せんを使ったり、兄弟から盗んだり、また不正な処方せんを使ったりして入手され、それからこれらの錠剤は幅広く販売されます。その価格は学校で1~2ドル、闇取引では1錠あたり20ドルにもなります。

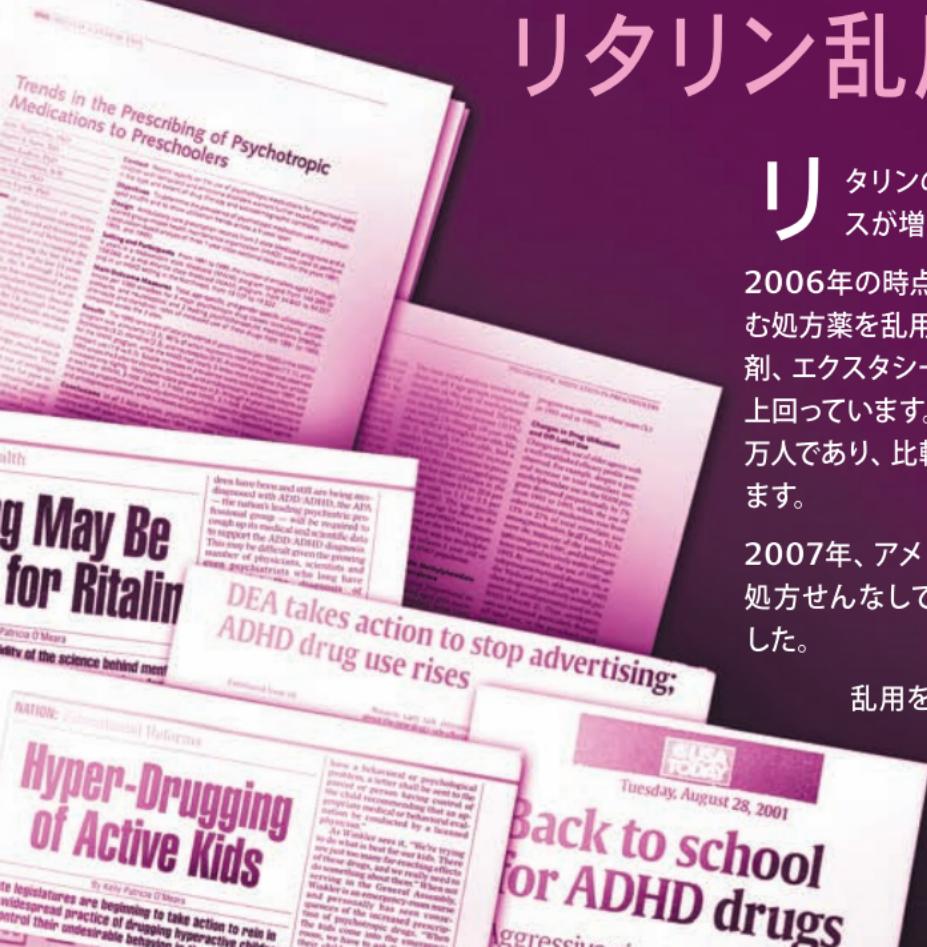
合衆国でリタリンはキディー・コカインと呼ばれていますが、リタリンをコカインになぞらえるのは、単なるキャッチフレーズではありません。リタリンは化学的にコカインと似ています。液体として注射すると、それは中毒者が渴望する「激しい刺激」をもたらします。

2000年に、合衆国麻薬取締局は、コカインとリタリンを投与された動物および人間に関する研究結果を公表しました。その実験の被験者はそれらの違いを区別できず、ほとんど同一の作用を引き起こすと結論付けています。

コ カインと
リタリンを
与えられた被験者は
それらの違いを
区別できませ
んでした。



リタリン乱用の範囲



リタリンのような処方薬が乱用目的で使用されるケースが増加しています。

2006年の時点で700万人近くのアメリカ人がリタリンを含む処方薬を乱用しており、その数はコカインやヘロイン、幻覚剤、エクスタシー、有機溶剤・吸入ガスを乱用した人の合計を上回っています。処方薬の乱用者は2000年の時点では380万人であり、比較するとわずか6年で8割増加したことになります。

2007年、アメリカの高校3年生の3.8%が、過去1年の間に処方せんなしでリタリンを使用したことがあると報告しました。

乱用を増加させている主な要因のひとつは、リタリンなどの中枢神経刺激剤に対して出された処方せんの数の大幅な増加です。

アメリカ合衆国における中枢神経刺激剤の処方せんの数は、1991年には約500万件だったのが、2007年には3500万件近くにまで急増しました。

日本では、青少年のリタリン乱用が社会問題となっています。2007年に入りリタリンの依存症による入院件数が増加したため、2008年に厚生労働省はリタリンへの規制を強化するようになりました。

アメリカ合衆国では、1990年から2000年にかけて、リタリンの服用に関する事故で186人が死亡しました。こうした事故の危険性が最も高いのは、リタリンを鼻から大量に吸引する乱用者です。

1995年以降、リタリンは合衆国麻薬取締局による「最も盗難が多い薬品」リストの常連です。

2004年に緊急治療室に運び込まれた
リタリン乱用者は
1990年の13倍
以上です。

1990年

リタリン絡みで
緊急治療室に
運び込まれた人数

2004年

リタリン絡みで
緊急治療室に
運び込まれた人数

「リタリンより強いアンフェタミン系の薬物を大量にやるようになった。リタリンをやってなかつたら、そういう薬物に興味を持つことはなかつただろう。」

— アンティー



リタリンの乱用が 引き起こす悪影響

このアンフェタミン系の薬品は他のタイプの覚せい剤と同様、食欲の減退、不眠症、心拍数の上昇を引き起こしています。この薬物の多量服用、特に注射あるいは吸引による乱用は、身体を極度の緊張状態に置き、心臓にかかる負担は致命的なものになることがあります。

十代でリタリンを長期にわたって常用していた人は、ある日スケートボードをしている間に突然倒れました。心臓発作による死でした。

リタリンの注射には、さらに恐ろしい身体への影響があります。メチルフェニデート（リタリンの化学名）という化学合成物は完全な水溶性ですが、その錠剤に

は不溶性の微粒子が混合されています。これらの固体物質は、血流に注入されることにより毛細血管を塞ぎ、肺や目に深刻な損傷をもたらしています。

身体への影響に加えて、この薬物は短期的な使用でさえ深刻な感情の問題を引き起します。幻覚症状や、精神に異常をきたしたような行動もしばしば見られます。

テキサス州の調査員は、リタリンを常用すると、ガンにかかる危険性が増す場合があることを明らかにしました。この調査によれば、メチルフェニデートを処方された12人の子供たち全員に、ガンの危険性を示す遺伝子の異常が見られました。

短期的な影響

- 食欲の減退
- 心拍数、血圧、体温の上昇
- 瞳孔の拡大
- 睡眠パターンが崩れる
- 吐き気
- 奇妙で異常な、
時に暴力的な言動
- 幻覚症状、過度の興奮、
過敏性
- パニック、精神異常
- 過剰摂取によるけいれん、
脳卒中、突然死

長期的な影響

- 心臓発作、脳卒中、死へと
つながる心臓や脳血管の
永久的な損傷や高血圧
- 肝臓や腎臓、肺の損傷
- 鼻から吸引した場合、
鼻の中の細胞破壊による鼻血
- 喫煙した場合、呼吸器の障害
- 注射の場合、
伝染病やはれもの
- 栄養失調、体重の減少
- 周囲を正しく認識できな
くなる、無気力、混乱か
ら来る極度の疲労

強い心理的依存 -

- 精神異常
- 抑うつ
- 脳卒中や
てんかんを
含む脳の損傷



リタリンが誘発している 他の薬物の乱用

合 衆国薬物乱用研究所が支援した調査によると、リタリンやそれに類似した薬物の使用者はコカインを乱用する割合が最も高いことがわかりました。

薬物への耐性ができるから、リタリンの常用者は同じように「ハイ」な状態に達するために、さらに強力な薬物を取り始めるようになります。その効き目が消え始めると、もともと薬物を乱用するきっかけとなった望ましくない状態から抜け出すために、さらに強い薬物を取り始めます。

カートの物語：ロックの伝説的人物カート・コバーンは7歳の時リタリンを取り始めました。コバーンの未亡人であるコートニー・ラブは、この薬品がその後の強力な薬物の乱用につながったと見えています。1994年に彼はショットガンで自殺しました。ラブも、子供のころリタリンを処方されました。彼女は、その経験についてこのように述べています。「子供の時にこの薬品を取って、あんな陶酔感を味わっていたら、大人になった時どうなるかはわかりきっています。」

リタリンそのものは、人を他の薬物へ導くことはしません。人は望ましくない状態や感情を取り除くために、薬物を取ります。薬物はその問題を一時的に、ハイになっている間だけ覆い隠します。その「ハイ」な状態が失せると、その問題や望ましくない状況は、以前より強烈になって戻ってきます。こうして、その使用者はリタリンの「効き目」がなくなると、さらに強力な薬物に走るのです。

25年にわたって行われた500人の生徒たちに対する調査によると、リタリンなどの薬物を使った生徒は、その後の人生で、コカインなどの興奮剤を使う可能性が高いことがわかりました。

2005年の調査によると、処方薬を乱用しない十代の若者と比べて、このような薬物を乱用する十代の若者がヘロインを使用する可能性は12倍となっています。またエクスタシーを使用する可能性は15倍、そしてコカインを使用する可能性は21倍となっています。

よく用いられる誘い文句
(その罠にかかるないでください) :

この強力な薬物を取るにあたり、
人はさまざまな誘い文句を用います。
それらが偽りであることを認識して
下さい!

- みんな使ってるよ
- 勉強の時に使うだけだよ
- 弟が学習障害で取っているし、
そんな危ない薬じゃないよ
- ハマるような薬じゃないから
- 依存症にはならないから、
やめたい時にいつでもやめられる

友達も含め、人から言われるこのような
誘い文句に引っかからないでください。

リタリンは死をもたらしている

リタリンを多量に服用すると、ふるえ、筋肉のけいれん、被害妄想*、また皮下を虫が這うような感覚など、他の中枢神経刺激剤を乱用した場合と同様の症状をもたらします。

ある17歳の少年は、リタリンの錠剤を碎いたものを鼻から吸引し、何日も寝ないで過ごした末に精神異常を起こし、手斧で両親を殺害し、兄弟や姉妹に重傷を負わせました。また7歳の頃からリタリン

マシューの物語：

マシューはリタリンを7年間にわたって取っていた10代の男の子です。彼は、2000年3月に突然亡くなりました。心臓疾患の病歴はなかったにもかかわらず、検死により毛細血管の損傷が明らかになりました。医療検査官のひとりが両親にこのように告げました。成人の健康な心臓が約350gであるのに対し、マシューの心臓の重さは402gでした。彼の死亡診断書には「死因は長期にわたるメチルフェニデート（リタリン）の使用」と書かれていました。

10

* 被害妄想：他人に対して根拠のない疑い、不信感、恐れを抱く状態のこと。



を取っていた14歳の少年は、他の少年をバットで殴り殺しました。

さらに悪いことに、リタリンは不整脈の原因となり、死を招くことさえあります。

リタリンの乱用は犯罪です

アメリカ合衆国では、リタリンの乱用は犯罪として厳しく処罰されます。その薬物売買の初犯者（たとえ1～2錠、友人に分け与えただけだとしても）に対する処罰は、20年以下の懲役刑、そして100万ドル以下の罰金です。

日本においては、リタリンが規制された後、その密売価格が急激に上昇しました。リタリンはしばしばインターネットを通じて取り引きされていますが、このような行為は犯罪として厳しく処罰されます。

「覚せい剤に興味を持ったのも、依存するようになってしまったのも、リタリンを処方されたことがきっかけだったと思う。最初は週末にやるだけだったのが、そのうち毎日やるようになった。

頭の上を鳥が飛んでいるような幻覚を感じたり、部屋にひとりでいる時に他の人もそこにいるような気がしたり、被害妄想の兆候も出始めた。友達が処方してもらったデキセドリンを1週間で使い切ってしまった。それからまたリタリンに戻り、そこからどんどんエスカレートしていったんだ。

高校3年の頃のことはほとんど覚えていない。ただ、どうにもならないほど気分が落ち込んでいたこと、理解力が極端に低下していたこと、そのせいで学校の成績が最悪だったことだけは覚えている。辛うじて卒業できたけど、大学進学については何も考えてなかった。

締め切り間際に手続きして、何とか地元の大学に入学した。覚せい剤をやらずにいたのは最初の17日間だけだった。覚せい剤への欲望にはとても抵抗できなかった。大学の講義に出たのは1週間だけで、もちろん落第した。」— サム

薬物についての真実

薬物は基本的に毒です。その作用は、摂取する量によって決まります。

少し摂取すると、活動をより活発にする中枢神経刺激剤として作用します。多めに摂取すると、活動を抑制する鎮静剤として作用します。さらに多量に摂取すると毒となり命を奪います。

これはどの薬物にも当てはまります。こうした作用を引き起こすのに必要な量に違いがあるだけです。

それだけではなく、多くの薬物には人の心にも影響を及ぼす弊害があります。薬物を取っている人が自分の周囲で起こっていることを知覚しても、それは歪んだものになってしまう可能性があります。その結果、その

人の行動は奇妙だったり、不合理であったりするかもしれません。暴力的になることもあるでしょう。

薬物はすべての感覚を遮断します。望ましい感覚も望ましくない感覚もです。そのため、短期的には痛みを和らげるために役に立ちますが、同時に人の能力や機敏さを消し去り、思考を不明瞭にします。

医薬品は、身体の働きを良くしようとして、何かを速めたり、遅くしたり、身体の働きを変えることを意図した薬物です。時には必要ですが、薬物であることに変わりはありません。中枢神経刺激剤や鎮静剤といった薬物を取り過ぎれば命を落とすこともあります。したがって、医薬品は規定通りに使用されない場合、違法薬物と同様に危険なものになります。

なぜ人は薬物を取るのでしょう?

人が薬物を取る理由は、自分の人生を変えたいと思うからです。

若い世代の人たちが薬物を取る理由には、以下のものがあります。

- 周りとうまくやっていきたい。
- 問題から逃避するため。
- リラックスするため。
- 退屈を紛らわすため。
- 大人になったような気がするから。
- 反抗するため。
- どんなものか試してみたい。

こういった若者は、薬物が問題を解決してくれると思っているのです。しかし、結局のところ薬物は問題にしかなりません。

自分の問題に直面することが困難なこともあります。しかし、薬物によって解決しようとしている問題よりも、薬物を使用した方が常に悪い結果を招きます。本当の解決策は、事実を認識し、最初から薬物など使用しないことです。



本当の解決策は、
事実を認識し、最初から
薬物など使用しないことです。



参照文献

Drug Enforcement Administration Fact Sheet on Prescription Drug Abuse

Monitoring the Future—National Results on Adolescent Drug Use, Overview of Findings 2007, National Institute on Drug Abuse

U.S. Dept of Health & Human Services, Testimony by Nora D. Volkow, MD, before the Senate Judiciary Subcommittee on Crime and Drugs, 12 Mar 2008

United Nations Office on Drugs and Crime

“Millions Have Misused ADHD Stimulant Drugs, Study Says,” Shankar Vedantam, Washington Post, 25 Feb 2006

“NIDA InfoFacts: Stimulant ADHD Medications—Methylphenidate and Amphetamines,” National Institute on Drug Abuse

Vanderbilt University Psychology Dept.

The Harvard Crimson Center for Substance Abuse Research

Novartis (Ritalin description)

University of Texas Medical Branch, Galveston

University of Indiana Prevention Resource Center

Royal Canadian Mounted Police

New York University Health Center

The Family Council on Drug Awareness

東京新聞特集記事
(2008年12月2日)

NHK 東京首都圏特別レポート
(2008年4月4日)

写真:4,5ページ: istockphoto.com/Matty Symons;
11ページ: Itar-Tass

この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズは、これまでに22の言語で出版され、世界中で何百万部も配布されてきました。新しいドラッグが次々と世の中に出回っており、その影響に関する新たな情報が知られるようになっています。本シリーズはそうした新しい情報を盛り込んだ最新版です。

これら的小冊子シリーズは、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルスを拠点とする非営利の公益法人「薬物のない世界のための財団」によって出版されています。

財団は、その国際防止ネットワークを通して各種教育資料や助言を提供したり、調整を行ったりしています。また、青少年や保護者、教育者やボランティア団体、政府機関ばかりではなく、薬物乱用のない人生を送ることに関心のある人なら誰とでも協力しています。

真実を知ってください：薬物

この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズには、マリファナ、アルコール乱用、エクスタシー、コカイン、クラック・コカイン、覚せい剤、有機溶剤・吸入ガス、ヘロイン、LSD、処方薬乱用についての正確な情報がまとめられており、読者が自分の意志で薬物のない人生を送ることができるように役立つ内容になっています。

さらに情報を知りたい方、またはこの小冊子シリーズのいずれかをさらに
何部かご希望の方は、下記までご連絡ください。



Foundation for a Drug-Free World
1626 N. Wilcox Avenue, #1297
Los Angeles, CA 90028 USA
drugfreeworld.org
info@drugfreeworld.org
1-818-952-5260

薬物のない世界のための財団
日本支部
〒170-0001 東京都豊島区
西巣鴨1-17-5
パークホームズ西巣鴨308
TEL: 03-5394-0284
Eメール: info@drugfreeworld.jp
drugfreeworld.jp